

疾患の治療と看護Ⅰ	1年・後期	1単位 15時間	講師 千木良悦子
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32210301

1. 授業のねらい・概要

疾患の治療と看護Ⅰでは学生が、「血液・造血器」、「感染症・アレルギー・膠原病」疾患の治療と看護の知識を身につけ、これらの疾患患者に対して根拠に基づいた看護を実践できる能力を養うことを目的とする。

2. 学修の到達目標

1. 貧血の定義、種類、原因、症状、治療、予後について説明できる。(D-2)
2. 造血器腫瘍の定義、種類、原因、症状、治療、予後について説明できる。(D-2)
3. 白血病治療中の患者に必要な看護を説明できる。(D-2)
4. 各種感染症の原因、症状、治療、予後について説明できる。(D-2)
5. アレルギーの病態、種類、原因、症状、治療、予後について説明できる。(D-2)
6. 各種感染症、アレルギー疾患患者に必要な看護を説明できる。(D-2)
7. 膠原病の病態、種類、原因、症状、治療、予後について説明できる。(D-2)
8. 感染症、アレルギー、膠原病疾患の患者に必要な看護を説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして授業前の小テストをおこなう。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Google Classroom, Gmail等による学習課題の提示・解説。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	血液疾患の診断と治療 [7]P78～98	講義	予習：赤血球，白血球の役割をまとめる。 復習：授業で解いた国試問題を復習する。	千木良悦子
2	造血器疾患の診断と治療 [7]P98～141	講義	予習：造血器腫瘍とは何かまとめる。 復習：授業で解いた国試問題を復習する。	千木良
3	血液・造血器疾患患者の看護 [7]P199～222	講義	予習：教科書[4]P2～3を読み白血病患者や家族に対して看護師ができること4点をまとめる。 復習：配布した授業資料を参考に看護のポイントをまとめる。	千木良
4	感染症の診断と治療 [11]P222～250, 286～340	講義	予習：P224を読み看護師が正しい手指消毒を学ぶ意味をまとめる。 復習：授業で解いた国試問題を復習する。	千木良
5	感染症の看護	講義	予習：日和見感染症とは何かまとめ	千木良

	[11]P318～324, 342～385		る。(P337) 復習：授業で解いた国試問題を復習する。	
6	アレルギー疾患の診断と治療と看護 [11]P40～57, 150～156	講義	予習：P4～5 を読み A さんが看護師として働くために必要なこと 4 つをまとめる。 復習：アレルギー I 型～IV型の違いを確認する。	千木良
7	膠原病患者の診断と治療 [11]P116～175	講義	予習：古典的膠原病の 6 つの病名を調べる。 復習：授業で解いた国試問題を復習する。	千木良
8	膠原病患者の看護[11]P178～203 定期試験	講義	予習：教科書[11]P112～113 を読み SLE 患者や家族に対して看護師ができることを 4 点まとめる。 復習：試験で間違ったところを復習する。	千木良

5. 成績評価の方法・基準

予習内容の小テストを各授業冒頭に行う（2 点 x 8 回＝16 点）。

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）の配点は 84 点。

小テストの総合点と定期試験の点数の合計で成績を評価する。定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てとする。

合格基準（60％）に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ループリック評価表を基に、5 段階評価で採点する。尚、ループリック評価表に関する詳細は、講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 飯野京子他（2024） 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[4] 血液・造血器 第 16 版 医学書院

2) 岩田健太郎他（2025） 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[11] アレルギー
膠原病 感染症 第 16 版 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修（学修課題）について、最低 90 分の予習および復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、許可の無い教室の出入り、授業に関係ない言動は慎むこと。

受講前、受講中も必要に応じて人体の構造と機能Ⅰ（1 年・前期）の復習をすること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

小テストの解説は講義内で行う。試験の結果と解答については後日 Google Classroom または Gmail を用いて解説する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。（履修要項・学生便覧参照）

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施されます。

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。